ろうけん熊本 (MAMO) 2016年 第9号

ROU*KEN



ガーベラ Gerbera

毎年花を咲かせる多年草で花のもちが良く、ピンク、赤、白、黄色、緑、オレンジなど明るい色が豊富にあります。鉢花・切り花など広く利用され、ブライダルブーケやフラワーアレンジメントにも人気の花です。

色ごとに花言葉がありますが、ガーベラ全体の花言葉には「希望」「常に前進」「忍耐」があります。優しく明るい雰囲気の色の多さから陽気な雰囲気を作り出し、その場にいる人たちの気持ちを明るくさせることが由来となっています。

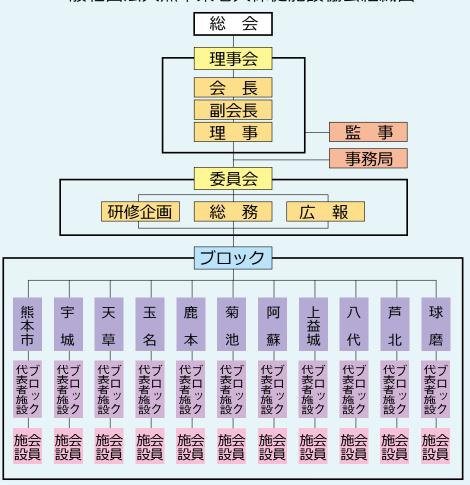
東日本の復興ソング「花は咲く」のイメージにも使われています。控えめでありながら明るい希望の笑顔を向けてくれるガーベラは、熊本地震で疲れきった熊本県民の心も、元気にしてくれます。



ガーベラの開花期は、3~5月と9~11月の2回あります。気温20度前後が最盛期のタイミングなので、4~5月、9~10月頃が最も花が咲いている時期です。

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



総 会 年1回、6月に開催する。

理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)

臨時理事会(必要に応じて開催する。)

委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、 老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。

- ●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
- ●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。

各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。

施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目

次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次2
熊本地震と介護老人保健施設 理事 金森正周3
『熊本地震』~老人保健施設の在り方~ 会長 山田和彦4.5
被災支援状況の活動報告 天草ブロック······6·7
熊本県老人保健施設協会会員施設8.9
平成27年度 表彰受賞者挨拶 ······10
施設紹介11~13
震災にも負けず、みんなでがんばります! ゆうきの里14
平成28年2月~平成28年6月までの各ブロック職種別活動の報告15
編集後記・原稿募集のお願い16

熊本地震と介護老人保健施設

一般社団法人《熊本県老人保健施設協会 理事

金森正周

申し上げます。 こり、被災された皆様には心よりお見舞い 4月14日、16日と大きな地震が2回起

> まで、災害への対応も地域包括ケアの中核を 目指す施設の大きな役目の一つではない に入所者を他の施設へ移さざるをえない に入所者を他の施設へ移さざるをえない に入所者を他の施設へ移さざるをえない で入所者を他の施設へ移さざるをえない で、なお一層の大変さがあったである で、災害への対応も地域包括ケアの中核を

策を考え直す必要があると思います。 今回の震災ではライフライン(電気、ガライン、情報伝達を含め、各施設ともに対か乗り越えることができましたが、ライフカイン、情報伝達を含め、各施設ともに対いまりながら何と

の健康維持、身体機能低下防止に取り組 ス不良等がおこりやすくなってきます。多くの専門職(看護、介護、リハビリ、指導員、 栄養士等)がいる強みを生かし、地域住民 米養士等)がいる強みを生かし、地域住民

思います

むことが重要と考えます。

お礼を云われる方もあります。ました。後で家族がわざわざ訪ねてこられできて助かりました等の声が多く聴かれてこに緊急に入所できてよかった、避難



熊本地震』〜老人保健施設の在り方〜

般社団法人熊本県老人保健施設協会 会長 山 田 和

彦

や我々県老健の対応の立ち上がりは ていただきました。今回はその経験 県協会に多くの皆さんに支援に行っ で全老健での支援にあたりました。 東日本大震災の時は震災発生直後に らず、会長として申し訳なく思ってい なかなか満足していただく支援に至 労省など行政機関と連携して被災さ 後より全国の皆さんから多くのご支 に学んだことも多く、全老健事務局 またその時、熊本県協会からは岩手 全老健会長に就任し、当時は手探り ます。振り返ってみますと、5年前の れた施設への支援を行っていますが、 援をいただき、また、熊本県はじめ厚 保健施設協会としては、震災発生直 お見舞い申し上げます。熊本県老人 回の熊本地震で被災された施設、ま 地震で幕あけした感があります。今 験したことのない思いもかけない大 続く16日の本震という2日連続の経 た職員はじめ関係者の皆様に心より 平成28年度は4月14日夜の前震に

> と、反省することも多々ありますし、 東日本大震災発生時に課題となった 東日本大震災発生時に課題となった まま残さているものも多くみられ、 今さらながら忸怩たる思いに至りま す。これからも時間とともに変わる す。これからも時間とともに変わる す。これからも時間とともに変わる す。これからも時間とともに変わる なが今後もこの震災で直面した課題 め、今後もこの震災で直面した課題 と感じています。

県老健としては、今回のような広域での災害の発生は全く想定外でしたし、その対応策もほぼ無の状態でたし、その対応策もほぼ無の状態でた。今回はたまたま、県老健事務局した。今回はたまたま、県老健事務局がある人吉が震災の範囲から免れ、また通信手段がほぼ保たれていたたまた通信手段がほぼ保たれていたため、初動の情報提供、施設の復興復旧等の後は支援物資の輸送、施設運営に対する行政要望など次々の発生する課題の対応にあたってまいりましる課題の対応にあたってまいりまし

内分割こようといるぎ人呆建布设こちで、一方で、普段から、地域に開かれ、在一方で、普段から、地域に開かれ、在一方で、普段から、地域に開かれ、在

仮設住宅等を中心に我々に何ができ らは長期にわたって、地域の再興や・ スを提供していただいた施設も多く ら地震発生直後から地域住民を受け て、施設や職員の方も被災されなが おりです。今回の地震発生にあたっ 援が求められているのはご承知のと 会理事の立場で、当会の副会長林邦 した。その運営の責任者には県医師 ビリテーションセンターを設置しま 回、県では、県の医師会内に復興リハ 姿に心より敬意を表します。これか 域の拠点としての役割を果たされた ありました。災害時の困難の中に地 は、施設運営だけでなく地域への支 的役割になっている老人保健施設に 宅復帰、在宅ケア支援が運営の中心 るのかが問われてくるでしょう。今 入れ、また福祉避難所としてサービ 一方で、普段から、地域に開かれ、在

> 興までは長い道のりが続きます。皆 り組みをお願いします。まだまだ、復 でその事業に参画し、大災害の後の ります。今こそ我々の運営理念の一つ ティーの再構築、生活支援等にあた 老健も会員施設の復興、地域の再興 さんのご支援とご協力を得ながら県 くことも重要な柱です。積極的な取 変だとは思いますが、地域に出てい の幕開けとしたいものです。多くの 困難の中からの新しい老人保健施設 テーションと在宅ケア支援の経験を めに、今まで培ってきた生活リハビリ である在宅生活支援そして地域に開 今後、生活不活発病対策、コミュ 町村と連携し、仮設住宅等を中心に、 雄先生が就任されています。被災市 施設が人材不足で苦労している中大 生かし、多職種からなるチームケア かれた施設としての役割を果たすた



平成28年熊本地震被害状況について

会員施設数 89施設(熊本市28 宇城4 天草11 玉名9 鹿本3 菊池7 阿蘇4 上益城6 八代7 芦北3 球磨7)

- ○建物・設備に被害があった施設 62施設(熊本市25 宇城4 天草2 玉名6 鹿本3 菊池6 阿蘇4 上益城6 八代4 球磨2) 被害の大きかった51施設のうち ・国庫補助金の申請予定:32施設 ・検討中:11施設 ・申請しない:8施設 【申請しない理由】・損害額が80万円に届かない。・80万円以上にはなるが、自施設より被害が大きい施設があるので心苦しい。
- ○施設使用不可になった施設 3施設(コスモピア熊本、第二コスモピア熊本、ケアポート益城 いずれの施設も利用者の移動を検討)
- ○**停電等により電気の使用ができなかった施設 8施設**(熊本市3 阿蘇3 上益城2)
- ○断水等により水の使用ができなかった施設 40施設(熊本市22 宇城2 天草1 菊池5 阿蘇3 上益城6 球磨1)
- ○**ガスの使用ができなかった施設 15施設**(熊本市10 阿蘇2 上益城2 八代1)
- ○人的被害 利用者の怪我あり 3施設(地震による転倒で、骨折1名 切創1名 嘔吐1名 打撲1名)
- ○職員の被害 16施設(自宅の全壊・半壊・倒壊、避難所や車中での生活)
- ○応援スタッフの派遣を依頼した施設 10施設

(10施設の内 受入済:4施設 調整中:2施設 派遣依頼の取り消し:2施設 派遣依頼の再検討:1施設 施設閉鎖中:1施設) (自施設で対応可能な状況になった)

平成28年(2016年)熊本地震に関する熊本支部対応状況

	平成28年(2016年)熊本地區	震に関す	る熊本支部対応状況
4/14 (木)	午後9時26分頃 益城町周辺を中心としてM6.5、震度7		・支援物資を3拠点施設へ10施設分搬送
	の地震発生	4/25例	• 鹿児島県支部より支援物資 第2便到着
4/15金	県内会員施設へFAXにて被害状況調査		• 使用できないケアポート益城の利用者受入れ可能調査
4/16(±)	午前1時25分頃 M7.3、震度7の地震発生		• 介護職員等の支援ニーズ調査
	• 会員施設へFAXにて2回目の被害状況調査		• 支援物資を2台にて搬送
	会長施設の救急車で支援物資の搬送を開始		(2拠点施設へ4施設分、別便で1施設分)
	(飲料水·カップ麵·ゴミ袋等)	4/26火	
	搭乗者:会長、リバーサイド御薬園職員2名 計3名		• 宮崎県支部より支援物資 第2便到着
	・県より熊本DCAT(災害派遣福祉チーム)登録施設へ		• 南阿蘇の孤立していた1施設へ支援物資搬送
	派遣職員待機依頼があり、登録施設へ待機文書の発出	4/27例	• 4月14日から現時点までに判明した建物・設備に関す
4/17(日)	支援物資を4施設に搬送		る被害状況調査
	(レトルトご飯、おかゆ、パン、飲料水、カップ麺等)		• 熊本各地の流通機能が回復してきたことで、被災施設
	搭乗者:事務局長、リバーサイド御薬園職員2名		が必要としている物資類の緊急度がなくなってきた為、
4/18例	午後8時42分頃 M5.8、震度5強の地震発生		全老健からの支援物資搬送はいったん終了。
	• 支援物資搬入先の拠点施設を5施設に依頼		・熊本支部においても、本日の支援物資搬送で緊急物資
	• 宮崎県支部より支援物資到着		はないと判断し、今後は随時要望のある物資の搬送に
	• 宮崎県支部の支援物資を熊本市ブロック拠点施設(副		変更する。
	会長施設:青翔苑)に搬送		• 支援物資を2台にて搬送
	支援物資については、被災施設が必要としている物資を		(3拠点施設へ7施設分、別便で1施設分)
	施設毎に仕分けして拠点施設に搬送	4/28休	• 災害復旧費国庫補助金申請方法・締切日について熊本
4/19火	• 支援物資搬送用の車輛 1 台をレンタル		県及び熊本市に確認し会員施設へ周知
	• 鹿児島県支部より支援物資到着		• 被災施設への応援スタッフについて熊本県及び全老健
	・物資搬入先の拠点施設を5施設に決定		と連絡・調整
	・熊本DCAT派遣職員待機の解除		• 県に提出する要望書案を県高齢者支援課長に事前相談
	(登録施設又は登録職員が被災している施設が多い	4/29金	• 被災施設への応援スタッフについて熊本県及び全老健
	為、現状では派遣は難しいと熊本県が判断)	4 (00(1)	と連絡・調整
	・熊本県災害リハビリテーション推進協議会が実施する	4/30(±)	• 被災施設への応援スタッフについて熊本県及び全老健
	災害リハビリテーション活動に関する、職員派遣の依頼	- (0/ -)	と連絡・調整
	文書を会員施設に発出	5/2例	• 被災施設への応援スタッフについて熊本県及び全老健
	支援物資を2台で搬送	- (- (1)	と連絡調整
4 (00(4)	(3拠点施設へ5施設分、別便で1施設へ)	5/7(±)	・災害復旧国庫補助金等に関する要望書を熊本県知事
4/20冰	・使用できない第二コスモピア熊本の利用者受入れ可	E (10(1)	あて提出(会長·両副会長)
	能調査	5/10(%)	• 災害復旧国庫補助金等に関する要望書提出を全老健
	支援物資を2台で搬送		に報告
4(01(+)	(3拠点施設へ6施設分、別便で4施設へ)		• 災害復旧国庫補助金等に関する要望書提出を県内会
4/21休	・球磨地域ブロック会員施設から協会事務局へ応援職員	E (1 7(1)	員施設に報告
	派遣開始(支援物資の整理仕分け、拠点施設への搬送) ・福島県支部、岩手県支部、鴻池会より支援物資到着	5/1/(%)	• 九州ブロック代表者会議において、熊本県支部長より 熊本支部会員施設の被害状況及び熊本支部の支援活
	・ 支援物資を2拠点施設へ4施設分搬送		照本文の云貝加設の板音が流及り照本文のの文族の動報告
4/22金	・	5/18/x)	判報点・九州ブロック介護老人保健施設大会において、熊本県
4/22(並)	・ 個局宗文部、石子宗文部、帰心云、ノイツア 励云、和ル 学より支援物資到着	5/ 10(JK)	
			支部長より熊本支部会員施設の被害状況及び熊本支
4 (22/ +)	• 支援物資を4拠点施設へ9施設分搬送	E (20/4)	部の支援活動報告
4/23(±)	・北海道支部、大和製罐より支援物資到着	5/20金	• 厚生労働省老健局老人保健課 佐原課長に、熊本県支 郵の支援活動内容及び能大支部会員施設の独実の理
	支援物資を2台で搬送(2加点体部へ 8体部へ 別便で3体部へ)		部の支援活動内容及び熊本支部会員施設の被害の現場と今後の課題について起生とお願いを行った。
	(3拠点施設へ8施設分、別便で2施設分)		状と今後の課題について報告とお願いを行った。



能本地震発生から天草ブロックの1週間





矢 野 辰 志 天草ブロック代表

未曾有の熊本地震の中で比較的被害が少なかった天草ブロックは、本震発生以降「被災地支援」という目標を 掲げ、以下の3項目を柱に動いてきた。

- (1)天草ブロック管内11老健施設の被害状況確認と、被災地支援への連携強化
- (2) 国県市等からの災害に関する情報収集と、行政との細かな連携
- (3) 県老協が把握した被災老健施設ニーズに対する情報共有と、支援体制の確立

天草ブロックが組織として動いた1週間

<発生1日目~2日目>

自施設の被害確認と再地震への備え、天草ブロック会員施設の被災状況確 認、及び被災地の情報収集を行った。

<3日目>

県老協から各施設へ支援物資依頼がきたが、スピードある支援が出来るよう に、天草はブロックで支援リストを取りまとめると報告。

天草の会員施設とは電話とFAXでやり取りし「明日までブロック長へリストを提出するように」と依頼し、天草ブロック組織として の援助支援体制を強化した。

地域の金融機関にも物資支援を依頼し、タオル1000枚を頂いた。

この日、県老協へDCAT派遣可能職員名簿も提出した。

<4日目>



天草ブロックで取りまとめた「支援物資リスト」を県老協へ提出したが、被災地 への搬入方法や搬入先が決まっておらず、届ける施設名の連絡を待った。 県老協事務局も混乱している状況が電話応対の中でも確認できていたので、

「天草からの物資は、明日まで当施設に集めてしまう。被災地への物資配送も 天草ブロック会員施設職員が行う予定。|と県老協へ報告。

そのような中、県老協から「DCAT待機要請は解除する」との文書がきたが、 災害リハビリテーション活動での職員派遣依頼があったので、4名を登録し待 機となった。

<5日目>

県老協から物資配送先の指示があり、熊本市・宇土市の2か所の拠点施設 へ、車3台で天草ブロック会員4人で物資を届けた。

<6日目>

被災地ニーズは、当初の「物資不足」から「入所受け入れ先」へと大きく変わ り、空きベッド調査依頼が頻繁にくるようになった。

そこで、天草ブロックは一つとなり災害地住民受け入れ支援を行う必要がある と判断し、「熊本地震に伴う天草ブロック緊急会議 |を開いた。

ベッドに余裕がない施設には、福祉用具業者に交渉し無償でのベッド貸与に こぎつけた。



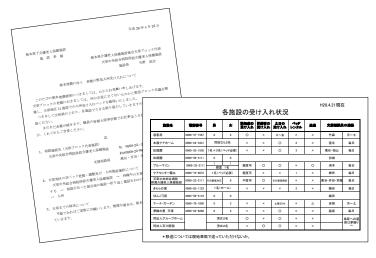
県老協からの受け入れ調査には「天草ブロック老健の緊急受け入れベッド一覧表 |を作成し24床確保した。また被災施設か らの相談がスムーズにいくように、天草地区の相談連絡窓口をブロック長施設とし、ベッド調整をしていく体制を作った。 この体制を天草市と県老協の双方へ電話とFAXで報告し、緊急受け入れ態勢を整えた。

熊本県下の被災老健施設宛てに、「緊急入所受け入れ」の情報をFAXで発信した。しかし結果19施設中4施設は不通で、 発信できなかった。

- ・熊本市内9施設(うち2施設不通)
- ・宇城市内4施設(うち1施設不通)
- ・上益城郡内6施設(うち1施設不通)







災害後1週間は具体的なニーズの変化が激しい中、一言で情報と言っても掴みにくく、また県老協や天草ブロックから発信したFAXが、混乱状況の中にある被災施設職員の手に届いたのかは不明で、何を目的とした発信だったのか他に方法がなかったのかと反省している。

実際に「緊急受け入れ表」での相談は1件もなく、DCATも、災害リハビリテーション活動での職員派遣の要請もなく、被災地から離れている地域からの支援の難しさを再認識した。

今回、被災地老健への支援をしたくとも連絡がつかず、支援体制がうまく機能しなかったという反省を踏まえ、今後、停電等で電話やFAXが使えない場合、「SNSでの県老協ブロック ライン」等の連絡網が作れるなら「災害発生時の連絡の手段確保」が出来、もっと具体的ニーズ把握や支援ができるのではと感じた。

また災害時における近隣地域ブロック毎の協力体制をつくっておくことも、今後の課題ではないだろうか。

災害で改めて認識したことは、自分の施設内全職員が同じ視点で考え動き、力を集結し一丸となって取り組む。また会員施設間でも一つの目的に一丸となることで、体制がはっきりと見えてくるのではないだろうか。日頃から「天草ブロック 老健」として年間を通じて活動連携していたことで、このような緊急時、地域が一つとなって協力体制が出来たことは大きな財産となった。





設協会会員施設。



@清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700 倒平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770 匈星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717 ⑤ てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600 ⑤幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ⑤希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ⑤太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111
 - 69サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656 ⑤桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- 99 おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500 90からせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100 ⑩孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666 ⑥リハビリセンターきくちの里 菊地市大琳寺123 0968-23-7721 ◎有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050
- ⑥阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- 匈愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511 ⑥おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111 ⑥リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000
- ⑥彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222 ❸ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110 ◎御船清流園 上益城郡御船町御船1062−1 096-282-1616 ⑩平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139−1 096-286-0666 ⑦ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788 ● ②ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777
- ●闭八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818 ⑭ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700 ⑤向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660 ⑩アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880 ⑦かがみ苑 八代市鏡町塩浜11-235 0965-30-4000 @皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545 例とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737
- ⑩やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ●⑧白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888 愈新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

⑧サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840 総リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811 ❸山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800 **⑯シルバーエイト** 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288

● 劉タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551 ◎愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586 ⑲もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

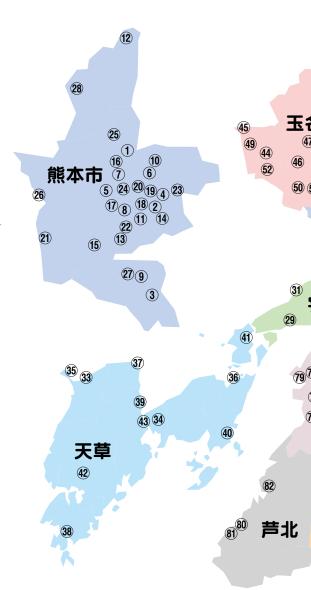
は平成27年度ブロック代表者施設です。

- ●①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④おとなの学校本校 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ③ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ④第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑤白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑩みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑪のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2−22 096-384-3399
- ⑨メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑩フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁月1-37 096-363-0101
- ②なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ②田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ③ケアセンター赤とんば 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ②なでして 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ⑤かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ②ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- 28ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486
- ②青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311 ③あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③ 景雅苑 宇土市上網田町3676 0964-27-17086
- ②なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
 - ③慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
 - ③本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090−1 0969-24-3331
- ⑤臥龍園 天草郡苓北町冨岡3273番地2 0969-35-1530
- 36松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- 39ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ⑨天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
 - ⑩きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
 - ④ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
 - ④ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

44聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521

- ⑤慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- 46樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666





平成27年度 表彰受賞者一覧

受賞者ごあいさつ

厚労省大臣表彰



清雅苑 看護師長 金森 直美氏

この度の平成28年熊本地震におきまして、被災された皆様へ謹んでお見舞いを申し上 げます。また、熊本県内外の多くの皆様方よりご支援、励ましのお言葉を頂き心より感謝申 し上げます。

今回の受賞に際しましては、周囲の多くの仲間に支えられ、恵まれた環境でこれまで勤 務が出来たお陰だと心より感謝致します。微力ながら今後老健の発展に少しでもお役に立 てるよう努力して行きたいと思っております。誠にありがとうございました。

全老健会長表彰



湧心苑 地域支援室長 友田 誠一氏

今回「全国老人保健施設協会 会長表彰」と言う名誉な賞を受賞でき、山田会長をはじ め熊本県老人保健施設協会関係の皆様に大変感謝申し上げます。私は平成11年6月に現 施設に勤務し、山田会長が全国老人保健施設協会会長時代に全老健総務・企画委員会 広報・情報部会に推薦いただき「機関紙老健」「介護白書」等に携わることができました。ま た、東日本大震災では岩手県へ派遣させて戴き大変貴重な経験をさせて戴きました。これ からはこの賞に恥じないよう邁進してまいります。

県老健会長表彰



第二コスモピア熊本 支援相談員

平成3年老人保健施設に入社し「介護」 の仕事で介護の奥深さを体験し、その後 「相談」の仕事で複雑な人間模様等に直 面し苦悩し学ばせていただい事も多く、 私自身も施設と共に少しずつ成長してき たように思います。このような賞をいた だき恐縮しておりますが、今回の平成28 年熊本地震で当施設も被害を受け、また ある意味スタートラインに立っている状 佐々木菜穂子氏 況です。また新たな気持ちで前進し、老 健運営に少しでも貢献していければと思 っております。今回は誠にありがとうご ざいました。



やすらぎ苑 介護福祉士 輝光氏 宮崎

この度は、熊本県老人保健施設協会会 長表彰を受賞できまして、心より感謝申し 挙げます。又、喜びと感謝で胸が一杯で す。偏に受賞出来た事については、これま で導いて下さった上司そして常に傍らで 支えて頂いた先輩、同僚、後輩そして家 族であると痛感しております。

これを機に、今まで以上に利用者様に 必要とされる介護福祉士を目指し、人材 育成及びスキルアップを自己目標に掲げ 精進して参ります。これからも当苑並びに 熊老健施設協会が益々発展して行くよう 微力ながら頑張る決意であります。



リバーサイド御薬園 支援相談員 林誠一郎氏

私が、介護老人保健施設リバー サイド御薬園へ勤務して18年にな ります。この18年間、いろんな体験 をさせていただき、現在でも勉強さ せて頂いております。これまでご利 用者様、上司や同僚、地域の方、他 施設のスタッフの方のご支援があ って、現在の自分があると思いま す。このような素晴らしい表彰をい ただき大変感謝しております。今後 も、地域に貢献できる介護老人保 健施設のスタッフとして、努力して 行きたいと思います。

小林久仁子氏 桔梗苑 副施設長

桔梗苑 介護支援専門員 木村ユリ子氏

熊本市ブロック 15

白 藤 苑



熊本市南区白藤5丁目1番1号 TEL 096-358-7200 FAX 096-358-7225

入所定員:100名 通所定員:100名

介護老人保健施設白藤苑は、平成8年に開設し、今年で20周年を迎えました。

「地域の医療と福祉に奉仕し科学する」を理念に透析医療機関でもある「あけぼのクリニック」を母体に地域で介護が必要な方々の在宅復帰を支援する在宅強化型老人保健施設でございます。

白藤苑施設入所者100名中、約30名の方が透析治療を受けておられ、あけほのクリニックには整形外科も有する為、骨折後のリハビリを希望し入所されるご利用者も多くおられます。

また通所リハビリは定員100名の大規模型として要支援から要介護の

方まで様々な疾患に 対してサービスを提供 しています。要支援の

方は要介護にならないようしっかり運動に励んでもらい、要介護の方は 可能な限り在宅生活を維持していけるよう支援させていただいていま す。リハビリでは短時間滞在型の介護予防特化型トレーニングにも力 を入れており、入浴では状況に応じた支援以外にも機械浴でのサービ スも行っています。

地域の中で当施設が有する機能や専門職員の技能が十分に活用され、老健施設が必要不可欠な存在となり、益々成長していけるように努力しています。



熊本市ブロック 16

みつぐ苑



熊本市北区貢町135

TEL 096-323-6123 FAX 096-323-6006

入所定員:80名 通所定員:50名

介護老人保健施設みつぐ苑は熊本市北区貢(みつぐ)町にあります。地域の皆様方の要望から地名の「みつぐ」をいただき平成9年1月17日に開設しました。来年は満20周年を迎えます。山や田畑と井芹川など緑豊かな環境に恵まれ、夕には西の空が茜色に染まります。向かい側にはフードパル熊本(熊本市食品工業団地)があり、四季折々の彩色豊かな景色が広がります。自然に囲まれた地域にありながら、熊本市中心部までは車で10分ほどです。

創立者の「一度利用されたご利用者は一生関わりたい」との想いから、法人理念である「共に支え 共に生きる」を掲げ、「私たちは地域社会の一員として、ご利用者とご家族の傍らで尊厳を守り、自立支援・在宅支援を誠心誠

意行います」とうたい、地域に根ざし、地域から求められる施設となるよう取り組んでいます。

老健施設の役割の中心であるリハビリテーションは理学療法士4名、作業療法士3名、言語聴覚士1名を配し、個別のリハビリテーションを主体に自立支援に取り組んでいます。

また、認知症状の方への対応は、認知症専門棟や多くの認知症ケア専門士を含むスタッフ全員でご利用者の生活が心地よく、穏やかになるよう支援させていただいております。

その他、同一敷地内の認知症専門外来のみつぐまち診療所や認知症対応型デイサービス、グループホーム、居宅介護支援、訪問リハサービスを含め、地域の関係機関とも密に連携し、ご利用者への切れ目のないサービス提供に努めさせていただいております。今後も関係機関との連携を図り、ご家族や地域の方との交流を深め、さらに地域に根ざした施設となるよう職員一同取り組んでまいります。



上益城ブロック 71

ナーシングケア緑風苑



上益城郡甲佐町白旗271 TEL 096-234-3788 FAX 096-234-4368

入所定員:50名 通所定員:36名

当施設は、緑川源流を限下に西は金峰山、普賢岳を望む甲佐町白旗地区に平成7年1月に開設しました。1階は通所リハビリ・居宅介護支援事業所・訪問介護・2階は入所者の居室となっています。また、甲佐町中心地に荒瀬病院・訪問看護・訪問リハ・グループホーム・地域密着型通所介護・居宅介護支援事業所を展開し、ご利用者の状態に合わせたサービスの提供が可能となっています。

リハビリ職員もPT4名、OT1名を常勤で配置し、介護予防サテライト事業(二次予防事業)に積極的に取り組み、入所規模として

は小規模施設ですが、ご家族や地域住民と交流や情報提供など 療法士による積極的な関与を行っています。

今後も当施設が持つ機能や専門性を発揮し、ご利用者の多様なニーズに応えられる特徴のある施設運営が出来るよう取り組んで参ります。

4月の熊本地震では、当施設も天井落下等、甚大な被害を受けました。県老健協はじめ、各関係機関のご支援、職員の頑張りなどで6月下旬に以前と同様にできるようなりました。

ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



球磨ブロック 85

山江老人保健施設



利用者へのリハビリも、作業療法士3名、非常勤理 学療法士2名を配置し、看護・介護スタッフと連携を図 りながら、利用者ひとりひとりに合わせたリハビリを実施 しています。

また、歯科医でもある理事長を中心に口腔ケアに力を入れており、ご利用者の健康増進にも努めています。 地域に開かれた施設を目指し、山江村とも連携を図るとともに、皆様から必要とされる施設になれるよう職員 一同努力して参ります。 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 TEL 0966-24-9800 FAX 0966-24-9988

入所定員:60名 通所定員:20名

当施設は平成6年に球磨郡山江村に開設されました。九州自動車道人吉インターから車で約3分、JR 人吉駅からタクシーで約10分という交通便のいい場所にありながら、周りは緑が多く静かな環境にあります。近くに保育園と小学校があり、子供たちとの交流も盛んで、小学校行事のお茶摘みや運動会にも一緒に参加しています。



玉名ブロック 46 **樹 心 台**



日々の活動の中に学習療法と音楽療法を取り入れ意欲の向上を目指したり、近隣のボランティアや保育園の園児さんらを招いての誕生会や交流会を実施するなど地域との交流にも力を注いでいます。また、リハビリスタッフとして作業療法士4名、理学療法士2名を配置し機能強化を図りながら、理念である「その人らしい自立と自律を支援する」取り組みを行なっています。

玉名市伊倉北方272

TEL 0968-73-4165 FAX 0968-73-4030

入所定員:100名 通所定員:45名

小岱山と玉名平野を一望できる高台に立つ樹心台は、平成7年に開設しました。併設の城ヶ崎病院、また居宅介護支援、訪問看護ステーションと連携しながら地域福祉の担い手となるよう日々努力しております。

施設内には1階に2つのデイルーム(定員45名)と大 浴場、2階療養棟(50床)と3階認知症専門棟(50床) があり、総勢90名のスタッフで支援しています。介護ス タッフの2割強に看護職員を配置し、介護のみならず 医療的なケアにも手厚く対応しています。







天草ブロック 40

きららの里



母体の上天草総合病院を中心に、施設内に訪問看護ステーション・居宅介護支援センター・地域包括サブセンター・在宅介護支援センターがあり、地域住民の要望に応える連携となっています。

上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 TEL 0969-62-1123 FAX 0969-62-1124

入所定員:50名 通所定員:40名

きららの里は平成7年7月に上天草総合 病院を母体として開設しました。

八代海が目の前に一望できるロケーションにあり、食堂・展望浴場・療養室からの眺めも美しく、背後には国立公園の龍ヶ岳が追り、季節毎に様々な光景が楽しめます。

夏祭りや夕涼み・クリスマス会など季節 毎行事に加え、毎月の誕生会には近隣の 保育園児や地域の踊りの会のボランティア 訪問があり、賑わいます。





ゆうきの里の取り組み

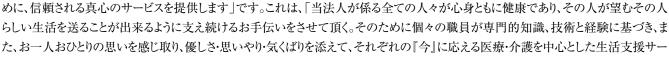
~震災にも負けず、みんなでがんばります!~

熊本地震では、たくさんの方が被災されました。現在も、避難所生活を送っていらっしゃいます。被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

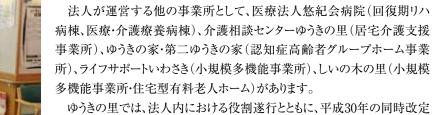
当施設では、建物等において多少の被害はありましたが、利用者さまへの影響がなかったことが何よりでした。震災後、法人として被災者の方8名を他施設よりお受入させていただきました。これからも、熊本復興のために、みんなでがんばっていきましょう。

さて、医療法人悠紀会が運営する介護老人保健施設ゆうきの里は、県北に位置する湯の町「玉名市」にあります。

当法人の基本理念は「みなさまの健康で豊かな生活を支えるた

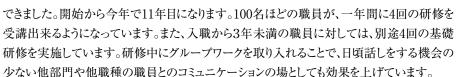


ビスを提供する」ことを目指しています。



ゆうきの里では、法人内における役割遂行とともに、平成30年の同時改定 を視野に入れ、「在宅復帰の強化」と「リハビリ中心の通所リハ」への変革を 進めています。

当施設の最大の特徴は、人材の育成に力を入れている点です。まず長年 にわたり「接遇研修」に取り組ん



次に、介護職員のキャリアアップを図るための仕組み作りを、法人内の介護主任・副主任が中心に取り組んでいます。日常業務の中で感じる問題点を出し合い、内容ごとにグループ分けをし「目指すべき介護職員像」を決定しました。これに近づくため、従来の研修に加え、今年度は新たな研修を8回計画しています(3回は介護主任・副主任が講師役を務め、5回は介護福祉士養成校の先生方に協力をいただきます)。これからは、法人の人事評価制度とリンクした、専門職としての自分たちを評価する物差しづくりに取り組んでいきます。介護職員のレベルアップが処遇改善に繋がっていくと考えており、そのためにも未来を担う介護職員の育成を行っていきます。

また、今年度からの取り組みとして、各部門の主任が、施設内の問題・課題の抽出から解決までを話し合しあい、新しい企画を提案する仕組みを取り入れました。若い人たちに、自ら感じ・考え・決定し・行動する機会を提供するとともに"スマイル&コミュニケーション"をモットー

に情報を共有し、やりがいのある職場づくりを目指しています。

最後に、私どもは平成28年7月1日で開設20周年を迎えます。

これまで色々とご指導・ご協力いただきました関係各位、利用者さま・ ご家族の皆さま・地域の皆さまに心より感謝申し上げます。今後ともよろ しくお願い申し上げます。











各ブロック職種別活動の報告

会 合 名	期日	内容	参加人数	
熊本市ブロッ	2	熊本:28施設		
事務管理部会	3月18日(金)	○介護保険制度における個人番号の取扱い事務について(市高齢介護福祉課 坂本正恵氏) ○補助金を活用した空調・給湯・照明設備の省エネ更新について(日医リース 西巻馨氏) 他	22施設 27	
看・介護部会	3月12日(土)	○H27年度活動報告について	25施設 35	
看・介護部会	5月28日(土)	○H28年度県老健年間計画 ○担当施設研修会確認 ○情報·意見交換 他	28施設 34	
支援相談部会	3月16日(水)	○実地指導経過報告 ○グループディスカッション ○各施設より連絡事項及びH28年度世話役の紹介 他	24施設 41	
宇城·阿蘇·上	益城ブロック	(合同) 宇城:4施設 阿蘇:4施設 上益城:6施設		
事務管理部会	3月4日(金)	○実地指導内容 ○次年度の役員・部会の計画について ○意見交換	12施設 15	
盾・介護部会	3月12日(土)	○H27年度の活動・反省について ○H28年度の役員・部会について	10施設 18	
支援相談部会	3月4日(金)	○実地指導報告会 ○意見交換会 ○次年度役員選任	13施設 16	
通所リハビリ部会	2月18日(木)	○法改正に伴う各事業所の取り組みとその後の利用状況について ○意見交換 ○H28年度活動計画及び役員選出	14施設 19	
宇城·上益城了	ブロック(合同	引) 宇城:4施設 上益城:6施設		
リハビリ部会	3月4日(金)	○H28年度の計画について ○意見交換会 ○実地指導 他	9施設 9名	
阿蘇ブロック		阿蘇:4施設		
リハビリ部会	3月4日(金)	○各事業所職員紹介、H28年度の抱負 ○今後の事業所の方針等についてのアンケート結果 他	4施設 13名	
天草ブロック		天草:11施設		
事務管理部会	3月23日(水)	○H28年度事業計画について ○H28年度ブロック代表者施設について ○H28年度世話役の選出について 他	11施設 5名	
事務管理部会	4月21日(木)	○H28年熊本地震対応について(被災地からの受入、施設被災状況、物資について) ○受け入れ可能表	8施設 8名	
事務管理部会	5月17日(火)	〇H27年度事務管理部会活動報告 〇H28年度事務管理部会事業計画 他	6施設 6名	
世話役会	5月17日(火)	○H27年度事業計画報告及び収支報告 ○H28年度天草ブロック長及び世話役の選任 ○H28年度事業計画と予算について ○活動手順 ○震災についての意見交換 他	7施設 14名	
看護·介護部会	6月16日(木)	○マニュアルについて ○環境整備について ○スタッフ教育について ○多職種連携について	11施設 34	
支援相談部会	3月10日(木)	○H28年度世話役選任について ○H28年度活動計画について ○事例報告 ○情報交換 他		
支援相談部会	6月9日(木)	○研修会「2016年診療報酬改定の概要と在宅部門との関係について」(天草慈恵病院 藤崎和寛氏) ○意見交換「平成28年熊本地震について」 他		
栄養部会	3月11日(金)	○介護報酬改定後の実施状況についての情報交換 ○その他情報交換 ○H28年度部会長選任	9施設 10名	
リハビリ部会	3月2日(水)	○H27年度の反省とH28年度の計画について ○症例発表 ○情報交換 他	5施設 6名	
リハビリ部会	6月15日(水)	○本年度の計画 ○介護保険改定に向けての取り組みについて ○症例報告		
通所リハビリ部会	3月11日(金)	○H27年度反省会 ○H28年度計画 ○通所リハ部会代表者紹介 ○情報交換	11施設 8名	
通所リハビリ部会	6月17日(金)	○通所リハビリ計画書モニタリング記入方法等について	6施設 6名	
玉名·鹿本·菊	池ブロック(合同)		
看·介護部会	2月18日(木)	○H27年度活動報告 ○H28年度活動計画 ○H29年度研究発表グループ確認 ○H28年度連絡担当施設・福連絡担当施設の確認と紹介 他	15施設 20	
リハビリ部会	2月26日(金)	○□腔機能維持について発表 ○□腔機能維持・ターミナルについての取り組み発表 ○H27年度の活動報告 ○H28年度の活動計画 ○H28年度世話人選考	10施設 17	
ブロック代表担当者会議	5月23日(月)	○H27年度各連絡会活動報告 ○H28年度各連絡会活動計画 ○活動報告、活動計画について意見交換 ○活動計画・報告の手順について 他	12施設 14	
支援相談・ケアマネ連絡会	7月8日(金)	○ブロック代表者担当者会議についての報告○情報交換会 ○施設見学 他	17施設 28	
八代・芦北ブロ	コック(合同)	八代:7施設 芦北:3施設		
支援相談部会	3月18日(金)	○実地指導に関する情報交換 ○その他情報交換 ○次年度幹事施設について	7施設 10名	
事務管理・ 支援相談部会	5月27日(金)	○熊本地震に関して、状況、対応について意見交換	7施設 10名	
雪・介護部会	3月17日(木)	○年度まとめ ○次年度議案 ○意見交換	9施設 20名	
盾・介護部会	6月24日(金)	○転倒·転落事故防止についての介護施設における原因や具体的な対策事例についての説明 ○他施設へ聞いてみたいことについて	9施設 21名	
リハビリ部会	5月20日(金)	○H28年度熊本地震について ○加算型老健施設に向けての取り組み 他	10施設 16	
球磨ブロック		球磨:7施設		
全体会	3月11日(金)	○ボーリング大会	7施設 56名	
全体会議	3月18日(金)	○年間活動報告 ○H28年度ブロック代表者施設 ○各委員申し送り 7旅		
支援相談部会	3月3日(木)	○H27年度実地指導後の報告 ○各施設からの意見交換	7施設 10名	



「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、 写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。 簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡差し上げます。

FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

メールアドレス	メールアドレス		
[ご連絡先] TEL	FAX		
[施設名]	[お名前]		
□その他()		
□うちの地域の自慢や祭り紹介	□旅行記		
□行事の記事や写真 □研修の感想	□施設の人気の料理メニュー □レクリエーション紹介		
□施設の活動について	□うちのイケメン職員紹介		









平成28年度は、熊本地震という今までに経験のない事で、始まった気がします。

私の勤める施設等では、被害はなかったものの、他地域の施設等では大きな被害をうけました。

今回の件で、色々な事に対して課題が浮き彫りとなり、反省すべき点やこれからの改善点などを経験し学んだ気がします。 今後、広報誌において、災害時だけでなく色んな情報についても取り上げていかなければと思っています。

※申し込多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

このたびの熊本地震により、被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

サンライフみのり 土肥

広報委員

土肥 英樹(サンライフみのり) 後藤 健(青海苑)

高森 由紀(希望の園)

岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター) 金子 俊弘(あさひコート) 立山奈津美(協会事務局)

印刷:シモダ印刷株式会社

